

江の川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ 中国地方最大の河川における多様な流域治水対策の推進 ～

資料-2

- 江の川水系は、上流域に位置する三次盆地において、江の川本川、支川馬洗川、西城川のほぼ同規模の3川が合流する形態を成しているため、合流後の江の川本川の水位が急激に上昇する特徴を有しています。
- 平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨、令和3年8月の大雨による洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、江の川上流域においては特定都市河川指定を行いハード整備の加速に加え、流域における貯留、浸透機能向上を図ります。江の川中・下流域においては、中山間地域の集落ごとに具体的な計画を策定し治水対策を加速化させるとともに、まちづくりと河川整備が一体となった『治水とまちづくり連携計画（江の川中下流域マスタープラン）』を策定し、将来世代まで住み続けられる地域を目指します。
- 以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間の江の川や馬洗川においては、馬洗川等の堤防が決壊し流域で甚大な被害が発生した、戦後最大の昭和47年7月洪水と同規模の洪水に対して家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図ります。あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し「逃げ遅れゼロ」を目指します。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備（築堤、輪中堤）、宅地嵩上げ等、河道掘削
- ・県区間河川改修（八戸川、玉川、大谷川、西城川、国兼川、本村川、馬洗川等）
- ・波積ダム建設事業
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・森林の整備・保全、治山施設の整備
- ・利水ダム等9ダムによる事前放流等の実施（国交省、島根県、広島県、中国電力(株)、土地改良区等）
- ・改修又は廃止する農業用ため池について活用を推進
- ・農地等の保全

■被害対象を減少させるための対策

- ・土地利用規制（災害危険区域等）
- ・居住誘導（立地適正化計画等）
- ・安全な地区へ移転（防災集団移転含む）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

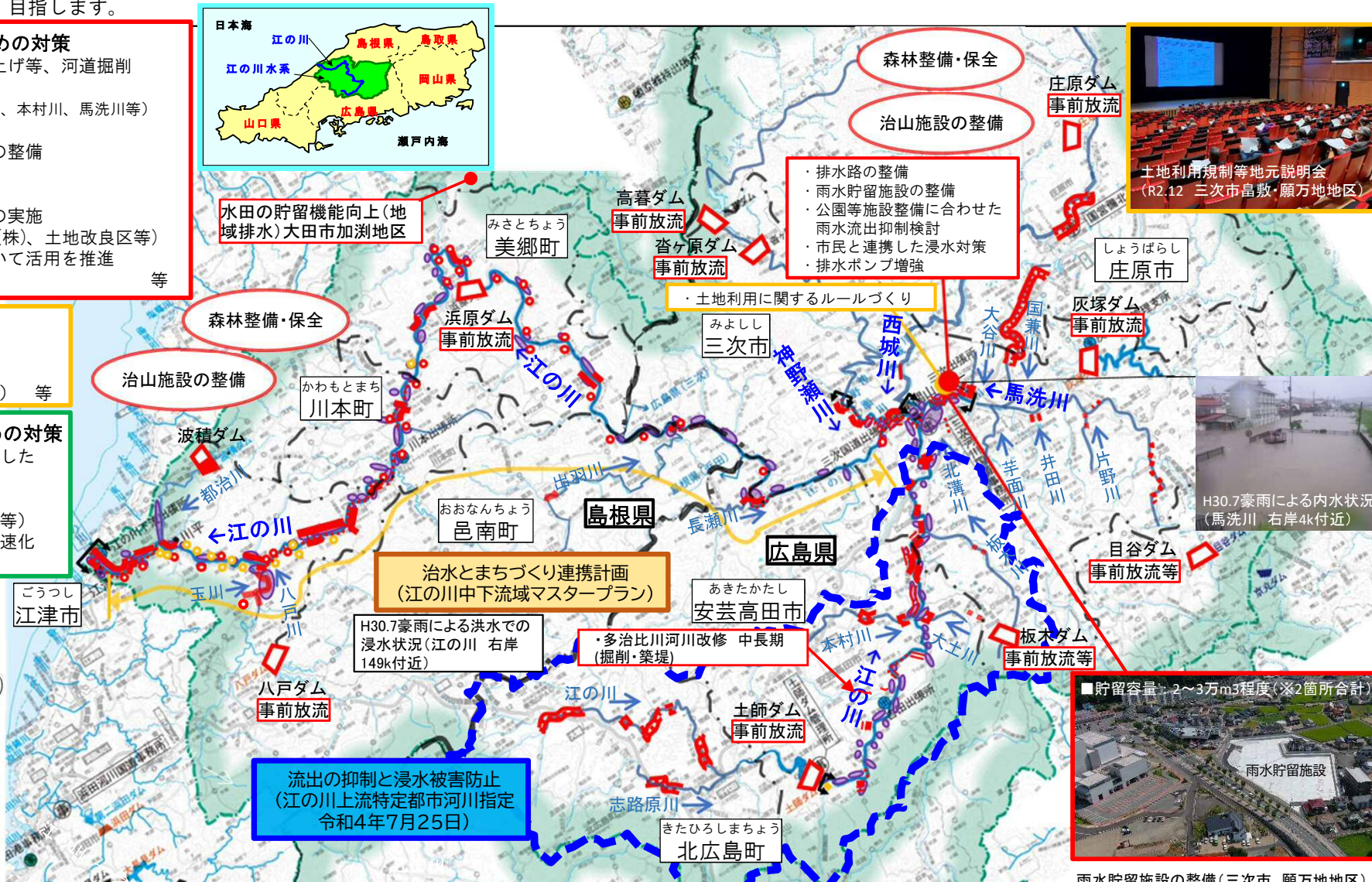
- ・国、県、市町、民間など多機関が連携したタイムラインの活用
- ・マイ・タイムラインの普及
- ・洪水時の河川情報の充実（水位・映像等）
- ・被害発生時の情報収集・情報伝達の迅速化（水防団等による）

■グリーンインフラの取組

詳細次ページ

凡例

- 浸水範囲(S47.7洪水実績)
- 堤防整備箇所※
- 宅地嵩上げ等箇所※
- 安全な地区へ移転※
- 河道掘削箇所※
- 堤防補強箇所※
- ※【マスタープラン 第1版時点】
- 大臣管理区間
- 流域界



雨水貯留施設の整備(三次市 願万地区)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

江の川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～中国地方最大の河川における多様な流域治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み『陰陽を結ぶ“中国太郎”の水の恵みを活かし、官民一体となった水辺空間の利活用を推進』

- 中国地方最大の流域を有する江の川は、中国地方中央部の社会、経済、文化の基盤をなす象徴的な存在であり、「雄大な川」「自然に恵まれた川」として『中国太郎』の名で親しまれるなど、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。
- 江の川水系においては、河道掘削等にあたり、魚類等動植物の生息・生育環境の保全・再生を目標として、今後概ね20年間でこれらに配慮した河道整備を進めていくなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進します。
- 江の川上流部では、水の恵みを活かした良好な水辺空間の利活用を官民が一体となって推進することを目標として、今後概ね5年間で「三次市三川合流部かわまちづくり計画」に基づいた水辺整備を行うなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。

■治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生育環境確保、河川景観の保全・創出
- ・水害防備林の保全
- ・ウェットランドの保全（ハイツカ湖）

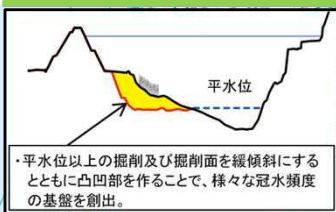
■魅力ある水辺空間・賑わい創出

- ・三次市三川合流部かわまちづくり
- ・出羽川かわまちづくり

■自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小中学校などにおける河川環境学習
- ・河川協力団体による河川環境教育、環境美化活動

生物の多様な生息環境の保全・再生のための河道掘削イメージ



河道掘削

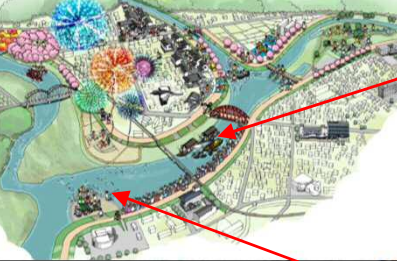
生物の多様な生息環境の保全・再生

森林整備・保全

治山施設の整備

森林整備・治山対策における自然環境の保全

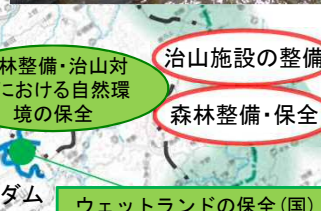
三次市三川合流部かわまちづくり計画



階段護岸整備（国）



環境学習（川のプール）

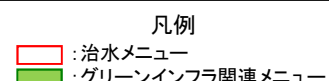
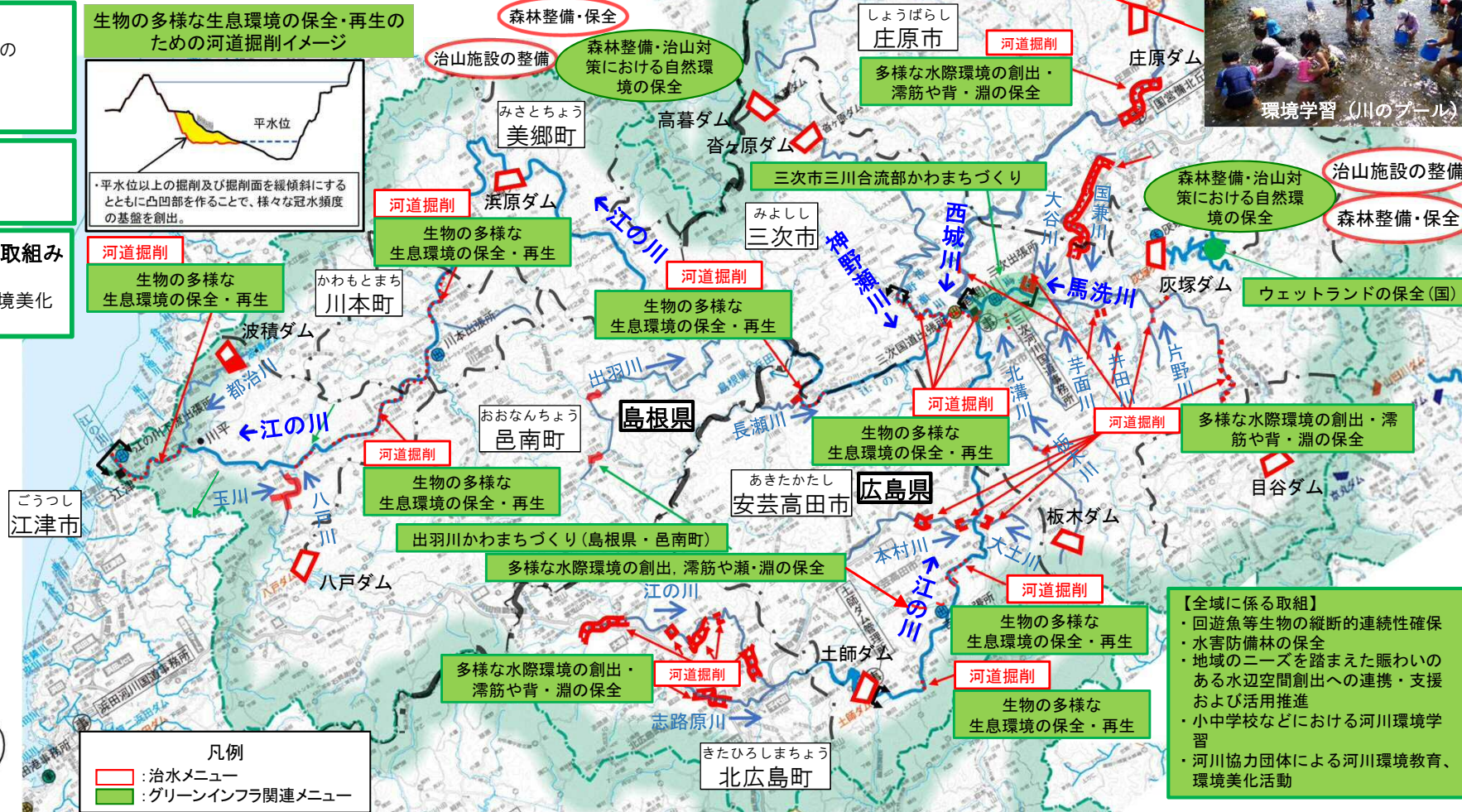
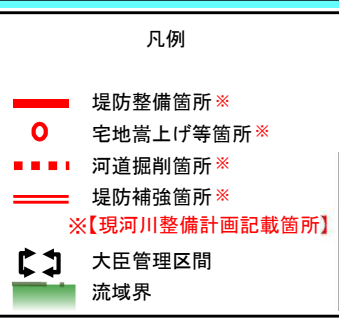


治山施設の整備

森林整備・保全

【全域に係る取組】

- ・回遊魚等生物の縦断的連続性確保
- ・水害防備林の保全
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援および活用推進
- ・小中学校などにおける河川環境学習
- ・河川協力団体による河川環境教育、環境美化活動



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

江の川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 中国地方最大の河川における多様な流域治水対策の推進 ～

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	液積ダム建設	島根県		ダム完成・運用開始
	内水被害を軽減させるための排水機能の向上	国交省		島敷緊急内水排水機場排水ポンプ増強完了
	利水ダム等9ダムによる事前放流等の実施	国交省・島根県・広島県・中国電力(株)・土地改良区等		雨水貯留施設・排水路(島敷・願万地地区)完成
	下水道等の排水施設・雨水貯留施設整備による流出抑制対策	三次市	島敷・願万地地区	※必要に応じて検討
	砂防関係施設の整備	島根県・広島県		
	森林整備・保全	森林整備センター・森林管理局・島根県・広島県・各市町・林業経営体・森林所有者など		
	治山施設の整備	森林管理局・島根県・広島県		
	江の川本川及び支川沿川における家屋浸水を防止または軽減するための堤防整備、宅地嵩上げ、河道掘削	国交省	築堤・輪中堤(八神・大貝・和田・川崎地区(江津市))・河道掘削 築堤・輪中堤(田津・久井谷・坂谷地区(江津市)川本地区(川本町)西之原地区(邑南町)・宅地嵩上げ・河道掘削	
		広島県	河道掘削(江の川・大谷川等)・築堤(西城川)	
		島根県	河道掘削(西川・本村川・馬洗川等)・調査・検討(宇治川・西城川)	
被害対象を減少させるための対策	土地利用規制(災害危険区域等)居住誘導(立地適正化計画等)	三次市・邑南町・美郷町・川本町・江津市・国交省・島根県	島敷・願万地地区(三次市) 瀬尻・久利谷地区(川本町) 谷地区(川本町)	土地計画・事前の施行(島敷・願万地地区) 水防河(堤上げ) 輪中堤・嵩上げ ※必要に応じて検討
	安全な地区への移転(防災集団移転含む)		港地区(美郷町)大口・小松・仁万瀬・花河原・恵梨・長良・田野地区(江津市)引城地区(邑南町)	
	多機関連携タイムラインの活用	国交省他関係機関	運用・改善	
	マイ・タイムラインの普及	国交省・島根県・広島県・各市町等	講習会等の開催	各地域内での普及促進
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水時の河川情報の充実(水位・映像等)	国交省・島根県・広島県	魚群計測のカメラ設置(国交省) 水位計及びカメラの設置(広島県)	(運用の充実)
	生物の多様な生息環境確保等	国交省	生物の多様な生息環境確保等(河道掘削)	
	多様な水陸環境の創出、滞筋や瀬・淵の保全	広島県	生物の多様な水陸環境の創出、滞筋や瀬・淵の保全(河道掘削)	
	ウェットランドの保全	国交省	ウェットランドとの保全	
	三次市三川合流部がわまちづくり	国交省・三次市	三次市三川合流部がわまちづくり	
	出羽川がわまちづくり	島根県・邑南町	出羽川がわまちづくり	
	回遊魚等生物の縦断的連続性確保	国交省	回遊魚等生物の縦断的連続性確保	
	・水害防護林の保全	国交省	水害防護林の保全	
	・地域のニーズを踏まえた臨わいのある水辺空間創出への連携・支援	国交省	臨わいのある水辺創出	
	生物の多様な生息環境の保全・創出	森林整備センター・森林管理局・島根県・広島県・各市町・林業経営体・森林所有者など	森林整備・治山対策における自然環境の保全	

- 江の川水系では、上下流・本支川を俯瞰し、国・県・市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
近年の平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨、令和3年8月の大雨において度重なる甚大な被害が発生したことを踏まえ、

【短 期】

(上流) 築堤などの河川整備に加え、島敷・願万地地区における内水被害の軽減を図るため、雨水貯留施設等の整備を実施。合わせて、激甚化、頻発化する自然災害に対応するための安全なまちづくり(土地利用規制等)や、逃げ遅れゼロを目指した多機関連携タイムラインの活用等を実施。

(下流) 築堤・輪中堤や宅地嵩上げなどの河川整備に加え、集団移転を含む安全な地区への移転など、多様な事業手法により、家屋浸水被害を受けた集落・地区に対して、家屋の浸水被害防止を加速化。将来世代まで住み続けられる地域を目指し、まちづくりと河川整備が一体となった『治水とまちづくり連携計画(江の川中下流域マスタープラン)』を策定。

【中長期】

江の川沿川の浸水被害を防止または軽減するため、引き続き築堤や宅地嵩上げ、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。合わせて、まちづくりと一体となった河川整備の実施、マイ・タイムラインの普及を促進。

■事業規模

河川対策(約892億円)

砂防対策(約290億円)

※他流域含む広島県全体、R3～7年度

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

～中国地方最大の河川における多様な流域治水対策の推進～

・谷地区の宅地等嵩上げが完成することにより、昭和47年7月洪水と同規模の洪水でも谷地区の外水被害を軽減・解消することが可能。

※赤色地区について、短期・中期の工程を示す。

注：整備内容は江の川中下流域マスタープラン【第1版】時点のものを示す

短期・中期完了代表箇所为例



江の川水系流域治水プロジェクト 江の川（上流）【事業効果（国直轄区間）の見える化】

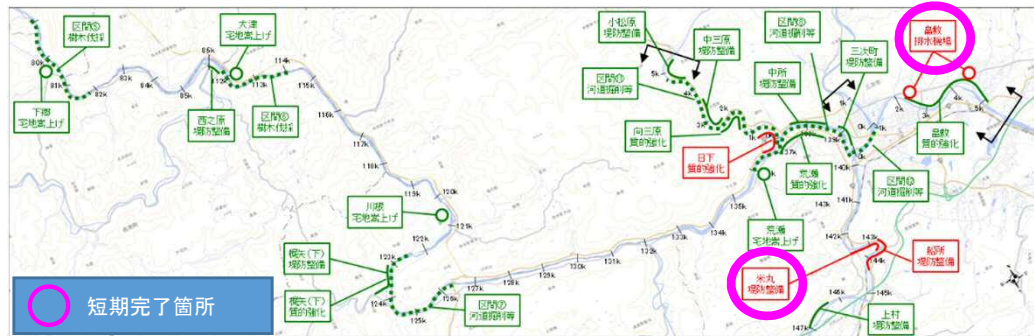
～中国地方最大の河川における多様な流域治水対策の推進～

<畠敷地区> 短期完了箇所

・畠敷地区の排水機場ポンプ増強事業のR4完了に伴い、H30.7豪雨規模の洪水でも畠敷・願万地地区の内水被害(床上)を解消することが可能

<米丸地区> 短期完了箇所

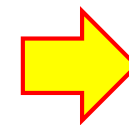
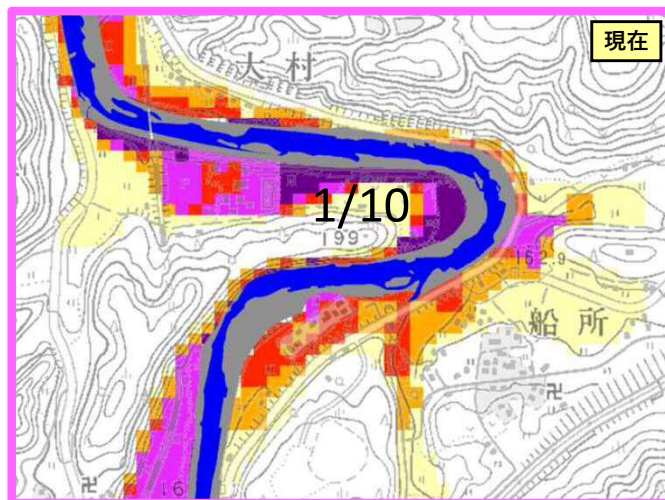
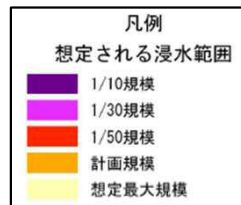
・米丸地区の築堤事業がR6に完了することでH30.7豪雨規模の洪水でも米丸地区の外水による家屋等の被害を解消することが可能となり、さらに対岸(船所地区)の整備に着手できる。



短期完了時【河川整備率(上下流) 約61%→約63%】

区域	区分	対策内容	区間	短期 (R2～R7年度)	中・長期 (R8～R27年度)
江の川上流（広島県）	堤防整備		片山	—	
			米丸	—	
			船所	—	—
			その他(上村 等)		—
	宅地高上げ	大津 等			—
	浸透対策	日下 等		—	
	排水機場	畠敷		—	
	掘削 等			—	—

米丸地区



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

